

浦安市港物流センター上棟式開く

アライプロバンス 施工は西松建設

アライプロバンス（東京都墨田区、新井嘉喜雄社長）は、同社初の大型物流施設となる「（仮称）浦安市港物流センター」の上棟式を千葉県浦安市で開いた。施設はS造4階建て延べ3万4567平方メートルの規模。監

修はシービーアールイー。設計・工事監理と施工は西松建設が担当している。竣工は10月末の予定。外構部に庭園を設ける計画で、デザインに建築家の菅原大輔氏（SUGAWARA DAISUKE建築事務所代表）を起用する。



式典では西松建設関東建築支店の小林重雄現場工務革新センター長と高橋優浦安物流出

検びようとする新井成イメージ



張所長が最後の鉄骨にびようを仮締めし、アライプロバンスの田草川直樹取締役と青柳慶賢営業部長が本締め、新井社長と新井太郎代

表取締役専務が検びようを行った。その後、鉄骨をクレーンで所定の位置に据え付け工事の無事完成を祈願した。

建設地は港69の自社工場跡地。敷地面積は1万4878平方メートル。マルチテナント型の大型物流倉庫で、最大4テナントが入居できる。同社が2020年4月に社名変更し、製造業から総合不動産業にかじを切った。

式典後、新井専務は外構部に設ける「四季の庭」について、「ありきたりではないものを造るのが「アライ」だ。働く人に喜んでもらえる環境をつくり、グッドデザイン賞を目指したい」と語った。

